

ゴキブリ退治用のホウ酸ダンゴの作り方(参考資料)

製造販売元: 三重県津市高茶屋小森上野町 1346-4

株式会社 カトウケミカル

TEL:059-234-3781(代) FAX:059-234-1351

1. ホウ酸について

カトウケミカルではホウ酸(H₃BO₃)の“粉末”と“結晶”の2種類を用意しております。結晶のほうが飛散しにくく取り扱いが便利のため店頭等でよく見かけますが、ホウ酸ダンゴの製造方法によっては粉末のほうが適している(ダンゴ状になりやすい)場合があります。ただ基本的には同一成分なので効能等に違いはありません。

カトウケミカル製 ホウ酸(H ₃ BO ₃) Boric Acid	
純度	99.5%以上
比重	1.49
容量	500g 入(他のパッケージも相談受けます)
梱包形態	2層 PE 製袋
外観	無色無臭 白色粉末または結晶
性質	極めて弱い酸性。水溶液は弱酸性
保存方法	密閉して冷暗所にて保存
廃棄方法	大量の水に希釈して廃棄する。

2. ホウ酸の使用上の注意点

ホウ酸は飲んだり吸い込んだりすると、吐き気・嘔吐・下痢・腹の痙攣・皮膚や粘膜の紅斑・循環器系の虚脱・心悸高進・チアノーゼ・意識混濁・痙攣発作・昏睡を引き起こすことがあります。

ホウ酸は毒性が強い(ヒトの最小致死量 成人 8~30g 小児 3~6g)ので、目や皮膚についたら応急措置として多量の水で洗い流し、口に入ったら、口をよくすすいでください。

3. ホウ酸ダンゴについて

ホウ酸ダンゴはゴキブリ駆除剤として古くから使用されており、ゴキブリ等の雑食小動物の好物であるジャガイモ、タマネギ、小麦粉、砂糖、米ぬか等に、毒餌(ベイト)としてホウ酸を混ぜて団子状に成形したものです。現在では市販品も多く、ホウ酸の含有量も5~70%と幅があります。ホウ酸は細胞毒で、ゴキブリの表皮から浸透する接触作用と、経口的摂取による消化

管内の共棲微生物殺菌作用および組織 SH 系酵素阻害作用により、ゴキブリは脱水症状を起こして死亡します。作用は遅効性で、効果が現われるのに 4～5 日程度かかりますが、効果は確実と言われております。

〔ホウ酸団子の作り方〕

家庭で作られている例として、それぞれジャガイモ、米ぬか、タマネギを用いたホウ酸団子を紹介します。

ジャガイモを使った例

ジャガイモを蒸すかゆでてつぶし、10～15%のホウ酸を混ぜて親指大のダンゴをつくり、天日で乾燥する

米ぬか、グリセリンを使った例

ホウ酸 40g と米ぬか 140g をよく混ぜ、グリセリン 20mL を加え、さらに水を加えて耳たぶ位の柔らかさにする。これを 2cm 位の平らなダンゴ状に成形し、天日で乾燥する。

タマネギ、小麦粉、砂糖、牛乳を使った例

タマネギ小 1 個をみじん切りにし、牛乳大さじ 1 杯を加えてミキサーにかけペースト状にする。これに小麦粉 1/4 カップ、砂糖大さじ 1、マッシュポテトの素 1/4 カップ、ホウ酸 100g を加え、直径約 3cm の団子を作る。天日で 1 週間乾燥する。

〔ホウ酸団子の設置場所〕

台所の流し台の下、引き出しの奥、冷蔵庫の裏、ガスレンジの下の隙間等暖かく、潜伏間隙のある場所に設置し、数ヵ月～1年で取り替えます。

ホウ酸は毒性が強いので、幼児やペットが誤って食べることのないよう、十分注意して設置することが大切です。誤食防止に、ホウ酸団子を天日で乾燥する前に唐辛子をまぶすこともあるそうです。

以上(2002年3月作成)